

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター 森林環境教育

インフォメーション

(05.12.15 NO.6)

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターは国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組むNPO活動支援や森林環境教育等のフィールドの提供、技術指導などを支援しております。

主な活動区域は釧路湿原の上流域で弟子屈町、標茶町、鶴居村、釧路市(旧阿寒町)、厚岸町、釧路町の国有林です。

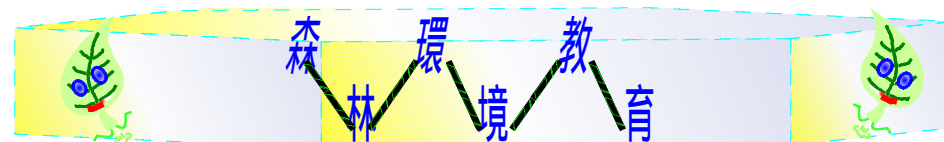
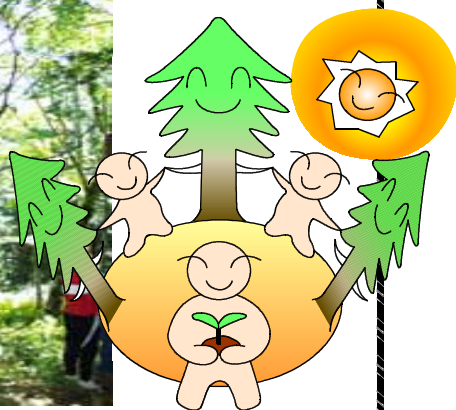
今年の5月に主な活動区域内の小中学校の校長会でふれあいセンターの活動についてPR。その中でアンケートを実施し各学校の要望を聞く中で森林環境教育を実施しています。

また、7月から毎月定期的にふれあいセンターで実施した森林環境教育をお知らせするインフォメーションを発行してきました。

今後も、色々なところで森林環境教育を実施します。



(標茶町国有林ミズナラ巨木の前で森林教室)



現在、実施したアンケートから、学校の先生の話聞く中で低学年・高学年用のガイドブックの作成に向け内容を検討しています。

現在検討している内容は小学校で実施している「生活科」「理科」「総合学習」などで使用することができる知識や情報を含んだガイドブックの作成

生徒に対する森林教室を実施する前に先生に対する研修を実施することが、生徒の理解をより促進させること

これらの課題を踏まえて、今後は

先生が各教科で利用できるようなガイドブックを作成し、先生への研修を積極的に実施し「学校全体」での取り組みを増やすなどの活動に取り組んでいきたいと考えています。

ご意見ご要望お待ちしております。



北海道森林管理局 指導普及課
釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター
〒085-0825
釧路市千歳町6-11(根釧西部森林管理署内)
TEL 0154-44-0533
Fax 0154-41-7305
URL: http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/kushiro_hp/

平成17年度 森林環境教育アルバム



(校庭で森林教室・寿小)



(校庭で森林教室・鶴居小)



(教員研修・柏木小)



(虫眼鏡で観察・柏木小)



(樹木の調査・知方学小)



(丸太切り・釧路市子ども遊学館)

北海道新聞 2005年(平成17年)8月20日(土曜日)

森林ふれあいセンター 環境教育の依頼続々 高まる関心、ニーズ

「年間通じ実施へ」

道森林管理局の釧路国営森林環境保全ふれあいセンター(釧路市)に、釧路管内の学校などから環境教育の依頼が次々と舞い込み始めた。同センターは昨秋、民間非営利団体(NPO)方式による森林づくりや自然再生活動の支援組織として新設され、「環境教育を通じて、まずは森林に興味を持ってもらえれば、今後も積極的に取り組む方針だ。」(片岡麻衣子)

森林環境保全ふれあいセンターは「六ヶ所地区」と同センター。昨年四月、林野庁の組織再編に伴って新設され、全国に十カ所、道内には四カ所ある。釧路国営森林環境保全ふれあいセンターは、釧路国営上林原の国営林を主な活動場所として、自然再生の方法の検討や、ボランティアとともに植樹活動などを行ってきた。

国営林での森林環境教育も事業の一つだが、昨年度は認知されなかったこともあり依頼はゼロ。本年度は管内の小中学校などにPRした結果、六月に一件実施、八、九月にも訂正予定されているという。環境問題への関心が高まっており、二〇〇五年度は、

「六ヶ所地区」と同センター。環境教育では実際に森林の中に入り、その役割や大切さを分かりやすく伝えるほか、樹木の名前や特徴、使用目的などを教える。要望によっては学校の校庭などで聞くこともできる。

これまでの依頼の中には、環境教育をより教職員を対象としたものもあつた。同センターでは「冬季には冬季の観察を行うなど、年間を通じて実施を予定している」と話している。

環境教育は団体が対象。問い合わせは同センター ☎0154・44・0033へ。

道森林管理局 片岡麻衣子 記者 道路功労者



(紙芝居で森林環境育・知方学小)



(木工教室・柏木小)